



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

鹿島の大地に、もち米が実る

令和6年10月24日(木)実施

地域学校協働活動 南相馬市立上真野小学校 稲刈り体験活動

田植えから5か月が経ちました

5月23日に田植えを行った南相馬市立上真野小学校の水田で、稲刈り体験が行われました。前日の雨で、田んぼのコンディションが心配されましたが晴天の下、全校児童での稲刈りを行うことができました。

今回も、地域学校協働本部の皆さんや、協力して下さる団体の皆様、保護者の皆様や近所の方々と、多くの人が集まってくれました。



泥の中でも、力を合わせて稲刈りです

開会式を行い、稲刈りのやり方を教えていただいた後は、いよいよ稲刈りです。

1・2年生は大人と一緒に稲刈りをしました。手を添えてもらった活動でしたが、稲を刈り取る感覚は手に伝わっていたようで、新たな体験への喜びを感じていました。3年生以上は自分一人での稲刈りです。安全に気を付けながら手際よく作業していました。しばらくすると、昨日の雨の影響が出てきました。田んぼが思っていた以上にぬかるんでいたのです。足が抜けなくて転んでしまう子、長靴だけが泥にはまってしまった子、靴下すら脱げてしまった子が続出です。こうなると、見学や写真撮影のみしていた大人も自然と田んぼに入っていました。協力して作業する姿は協働活動の良さです。ちなみに今年は夏の熱さのせい、穂に付く粒の数は少ないのですが、粒の大きさは大きいのだそうです。

小規模校の良さ、自然体験のすばらしさ、そして郷土愛へ

田植えと稲刈りだけならば多くの学校できそうですが、日常的な観察や農作業を行うような自然体験活動はこの学校でもできるものではありません。田園地帯にある小規模校ならではの地域学校協働活動です。参加していた保護者の方も、「このような体験を子どもにさせてあげられて嬉しい」と言っていました。お年寄りの方は「子どもは泥遊び好きだがん。楽しくていいな。」と笑顔で見えていました。子どもたちも全身泥まみれになりながらも笑顔でした。田植えの時には泥に入るのを嫌がっていた子も、今回は泥の中での作業に参加しており、活動を通してたくましくなりました。

閉会式では、今年の稲作の中心であった5年生が代表で、田植えの時から今日までの学びの成果と、地域の方々への感謝の気持ちを伝えました。12月には今回育てたもち米で、餅つき大会が行われるそうです。稲を通して、1年間ずっと地域のすばらしさを感じることのできる地域学校協働活動は、素晴らしいですね。

